

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第16週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-7

< 水痘 >
2004年の定点医療機関からの総報告数は246,655名であり、1999年4月に感染症法が施行されて以降、大きな変動はない



病原体情報
P.8-9

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン



速報
P.10

日本のAIDS患者・HIV感染者の状況(平成17年1月3日～4月3日) - エイズ動向委員会委員長コメント(要旨)



海外感染症情報
P.11-12

アンゴラでのマールブルグ病流行 - 更新 / インドネシアでのポリオ患者発生



感染症の話
P.13

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(16週)
P.14-20



16週のデータ
P.21-32



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第16週コメント> 4月28日集計分

全数報告の感染症

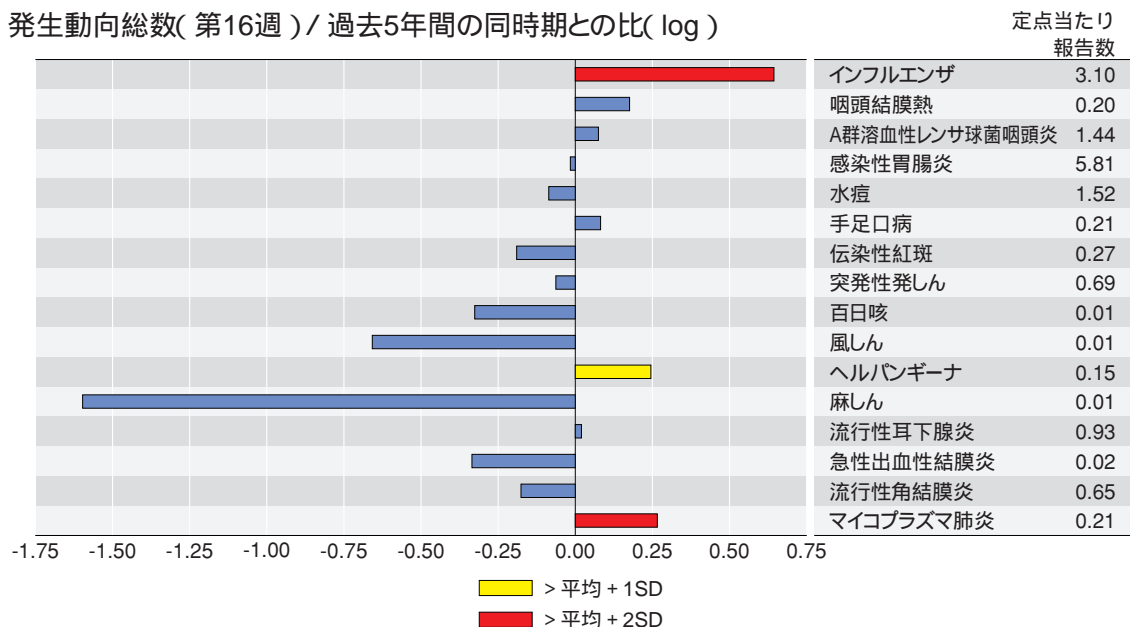
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 2例(ともに疑似症)
 - 細菌性赤痢 3例(推定感染地域: 国内1例、タイ1例、ラオス1例)
 - パラチフス 1例(推定感染地域: カンボジア)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 21例(うち有症者14例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(8例)、O157 VT2(5例)、O26 VT1(4例)、O157 VT1(2例)、O111 VT1(1例)、その他(1例)
 - 年齢: 10歳未満(8例)、10代(5例)、20代(1例)、30代(5例)、50代(1例)、60代(1例)
 - 4類感染症: オウム病 4例(推定感染源: セキセイインコ1例、インコ3例)
 - デング熱 1例(推定感染地域: インド)
 - レジオネラ症 1例(50代)
 - E型肝炎 1例(推定感染地域: 国内、推定感染源: 不明)
 - A型肝炎 2例(推定感染地域: とともに国内)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 2例
 - 推定感染地域: とともに国内
 - 推定感染経路: 性的接触(異性間)1例、不明1例
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
 - 後天性免疫不全症候群 11例(無症候6例、AIDS 3例、その他2例)
 - 推定感染経路: 性的接触10例(異性間4例、同性間5例、異性間/同性間1例)、不明1例
 - 推定感染地域: 国内10例、不明1例
 - 髄膜炎菌性髄膜炎 1例(0歳、推定感染地域: 国内)
 - 梅毒 7例(早期顕症I期3例、早期顕症II期2例、無症候2例)
 - 破傷風 1例(80代)
 - 急性脳炎 2例(ともに病原体不明(2歳、20代))
- (補)他に、クロイツフェルト・ヤコブ病1例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとしてE型肝炎1例(推定感染地域: 国内、推定感染源: 不明)、急性脳炎11例(インフルエンザウイルスA型8例(1歳、2歳、3歳、4歳、5歳、6歳2例、10歳)、インフルエンザウイルスB型3例(1歳、7歳、9歳))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第16週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

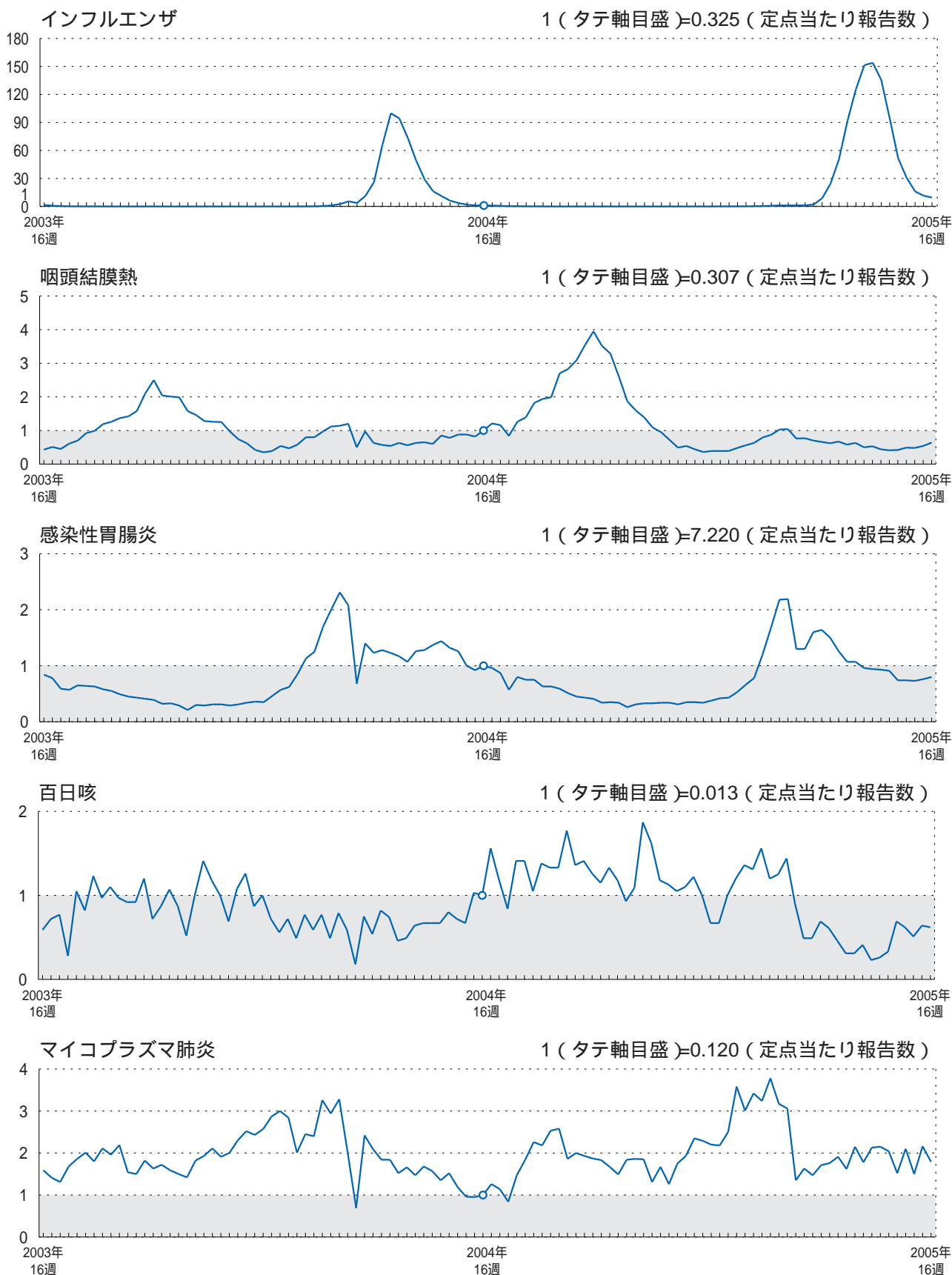
インフルエンザ定点報告疾患 : 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態は継続している。都道府県別では秋田県(13.5)、北海道(9.7)、沖縄県(9.4)、鳥取県(9.1)、福井県(8.7)、山形県(7.5)が多い。北海道では2週連続して増加し、山形県でも前週より増加している。

小児科定点報告疾患 : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では石川県(0.62)、福井県(0.62)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では北海道(3.5)、山形県(3.0)、新潟県(2.3)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鳥取県(17.6)、福井県(17.3)、宮崎県(11.4)、石川県(11.0)、大分県(11.0)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(3.0)、福岡県(2.5)、三重県(2.3)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(1.94)、佐賀県(0.91)、高知県(0.87)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福岡県(1.03)、佐賀県(1.00)、福島県(0.77)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では栃木県(0.07)が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では沖縄県(0.15)、群馬県(0.05)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では高知県(1.26)、佐賀県(1.22)、愛媛県(1.00)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では沖縄県(0.09)、東京都(0.04)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(2.6)、熊本県(2.5)、香川県(2.3)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて35都道府県から40例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下が全体の70%を占めている。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では石川県(1.40)、山口県(1.22)、福島県(1.00)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第16週)

2004年第16週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





注目すべき感染症

水痘

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルス(VZV)の初感染によって生じる急性伝染性疾患である。主な感染経路は、ウイルスを含有した飛沫による感染、あるいは飛沫核による感染(空気感染)であり、感染力は極めて強い。通常は2週間前後(10～21日)の潜伏期間を経て、発疹、倦怠感、発熱を主症状として発症するが、成人では、発疹が他の症状の出現よりも1～2日程度遅れることがある。発疹は紅斑として始まり、丘疹を経て短時間で水疱となり、痂皮化する。発疹は全身性であるが、体幹、顔面に多く、四肢には少ない。急性期には紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階が混在するのが特徴である。健康小児においては罹患者の大半が順調に経過し、予後は良好である。ただし、医原的な理由などにより免疫力が低下している児や、成人における発症例では重症化し、場合によっては死亡することもある。

2004年の定点医療機関からの総報告数は246,655例であったが、1999年4月に感染症法が施行されて以降、大きな変動はない。また、年齢別内訳をみると1～4歳児が中心であり、6歳以下が全体の90%以上、9歳以下が95%以上を占めている(図1)。これは1999年以降の過去5年間でも同様である(図2)。この様に、現在わが国では発症者の多くが学童期前であり、ほとんどが小学校低学年頃までに罹患している。

世界に先駆けて日本で開発された岡株水痘ワクチンは世界保健機関(WHO)によって、有効性および安全性の点で最も望ましいワクチンであると認められ、多くの国で認可されて接種されている。ワクチン接種後の抗体陽転率は健康小児で95%以上であり、軽症例まで含めた予防効果は80～85%、中等症例および重症例の予防効果は95～100%とされている。一方、わが国における水痘ワクチンの国内向け生産量は麻疹ワクチンの約1/4と少なく、ワクチン接種率は25～30%程度であると考えられる。乳幼児の保育施設に限るとさらに接種率が低く(7.6～13%程度)、毎年のように施設内集団感染が発生している(水痘1982～2004. IASR, vol. 25, p318-320, 2004)。この様にわが国では、ワクチンにより水痘の流行をコントロールするには至っていない状況である。

時期的には、例年第19～24週(5～6月)頃に小さなピークを形成した後は減少に向かい、第36～38週(9月)に最低となり、その後増加に転じ、第51～翌年第2週(12～1月)頃に別のピークを形成する流行形態となっている(図3)。これから6月にかけて罹患者数が増加すると推測されるが、新年度となり、感受性者の割合が増加している保育施設などの乳幼児の集団生活施設では、特に注意が必要である。

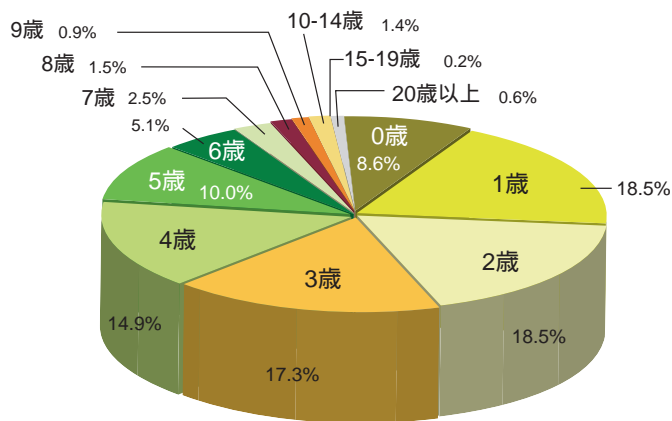


図1. 水痘の年齢別発生状況(2004年)

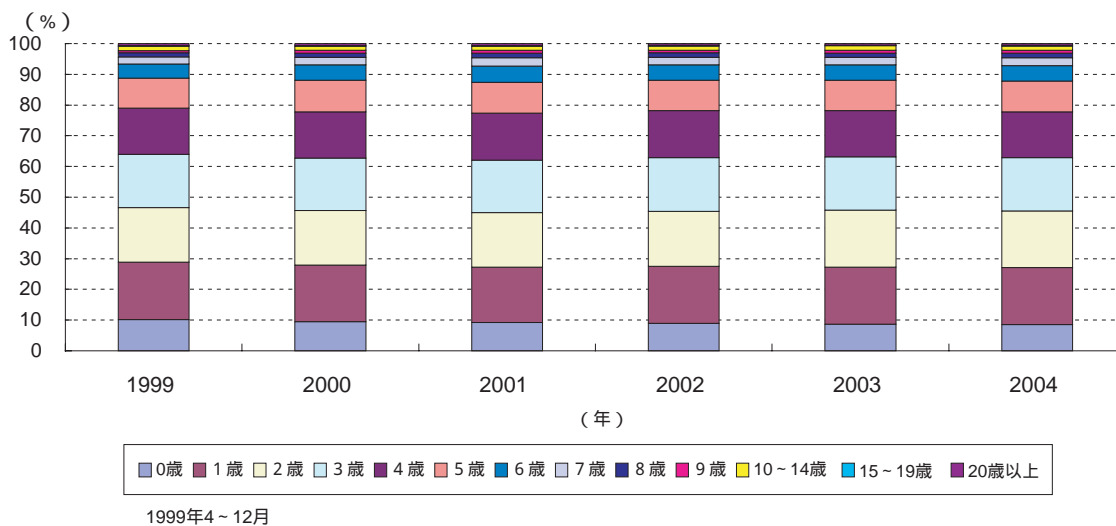


図2. 水痘の年別・年齢別割合(1999年4月～2004年)

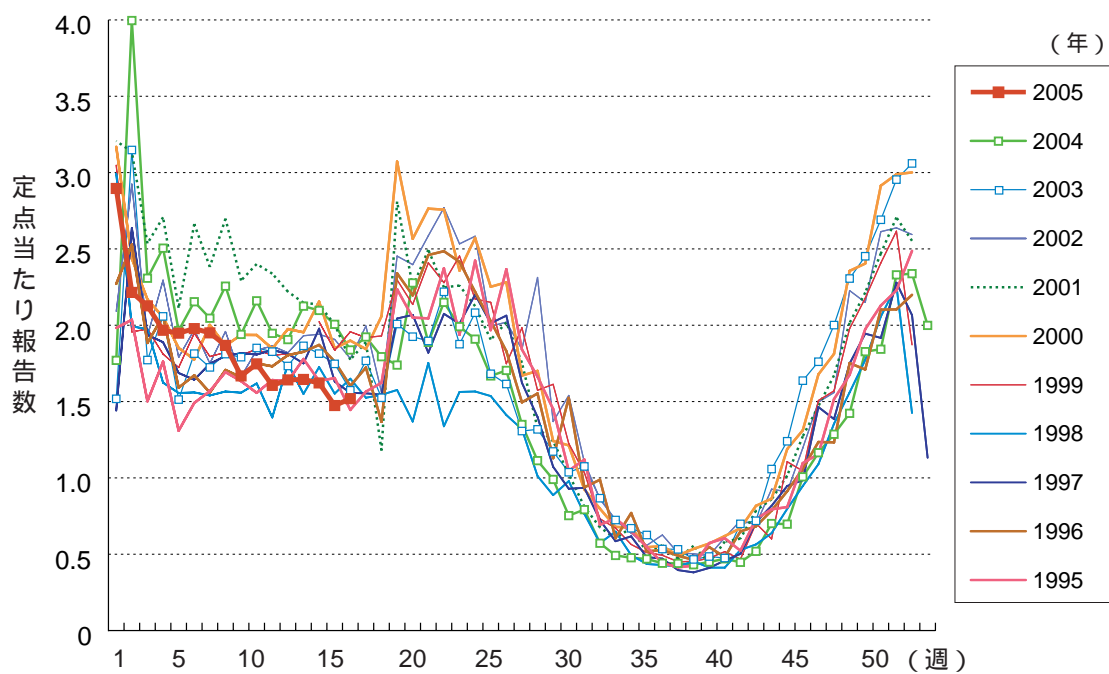


図3. 水痘の年別・週別発生状況 (1995年～2005年第16週)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

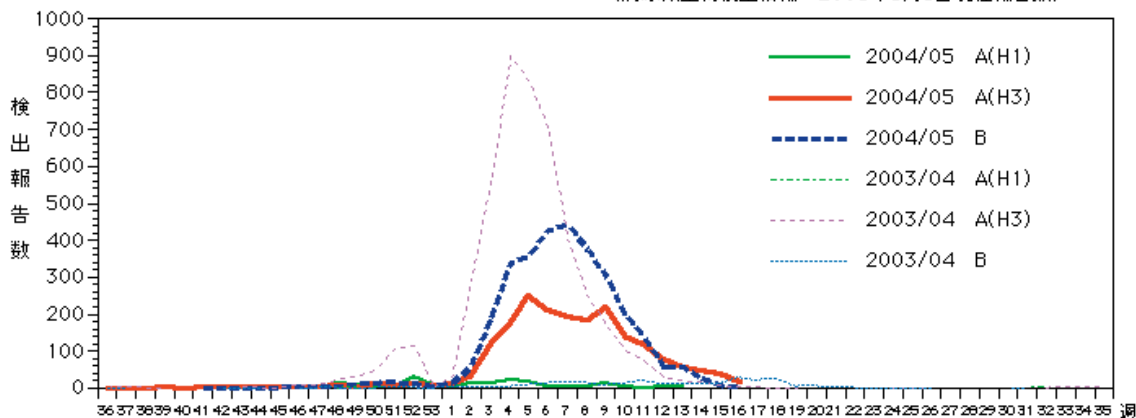
(2005年5月6日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

今シーズンはB型3,059件(うち28件はPCRのみによる検出)、AH3型1,985件(うち16件はPCRのみによる検出)、AH1型176件の分離・検出が報告されている。第2週以降、B型とAH3型の報告数がともに増加したが、B型が主流となった。B型は第8週以降、AH3型は第10週以降減少しているが、第12週以降、AH3型の報告数がB型の報告数を上回っている。AH3型の都道府県別検出報告状況を見ると、第16週には岩手、秋田、宮城、三重、兵庫の5県で検出されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報：2005年5月6日現在報告数)

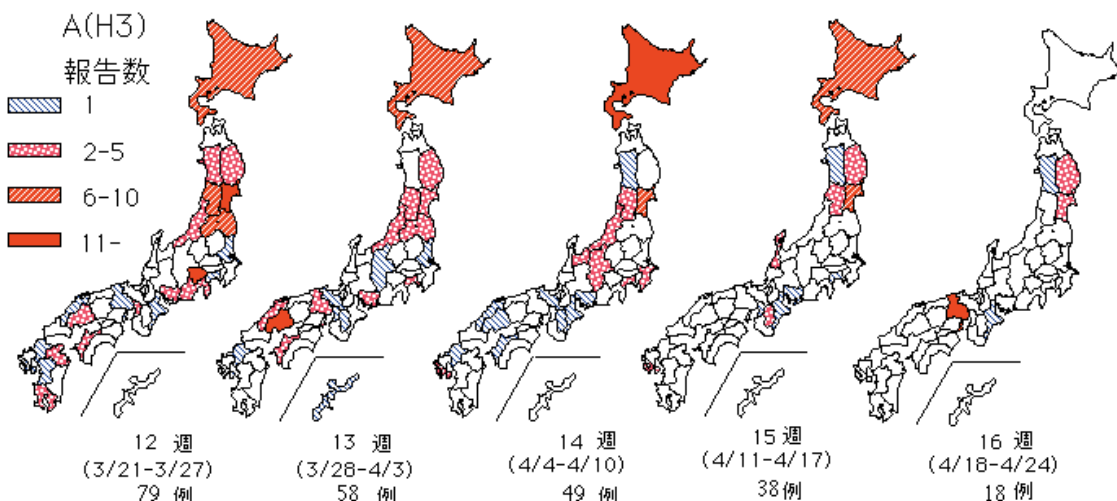


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



都道府県別インフルエンザウイルスA (H3) 分離・検出報告状況、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報：2005年5月6日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



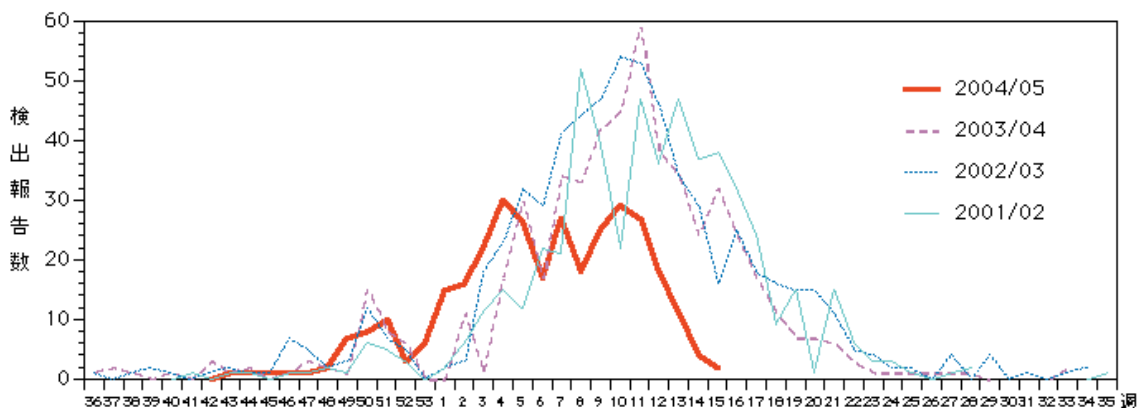
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

今シーズンはロタウイルスが、過去3シーズンに比べて早く第1週から増加し始め、これまでに332件の検出が報告されている。内訳は、A群327、C群2、群不明3である。A群のうち血清型別まで判明しているのはG3が8(愛知、奈良)、G1が5(新潟、愛知、奈良)、G4が1(千葉)、G9が1(愛知)である。

ノロウイルスは1,751件、サポウイルスは58件、電顕による検出(SRSV)が8件報告されている。ノロウイルスの内訳は、genogroup(G)IIが1,417件、GI 120件、G不明が214件である。年末(第52週)のピークは前シーズンと同程度であったが、第2週に大きく増加し、過去3シーズンを大きく上回った。

週別ロタウイルスの検出報告数、過去3シーズンとの比較(2001/02～2004/05)

(病原微生物検出情報: 2005年5月6日現在報告数)



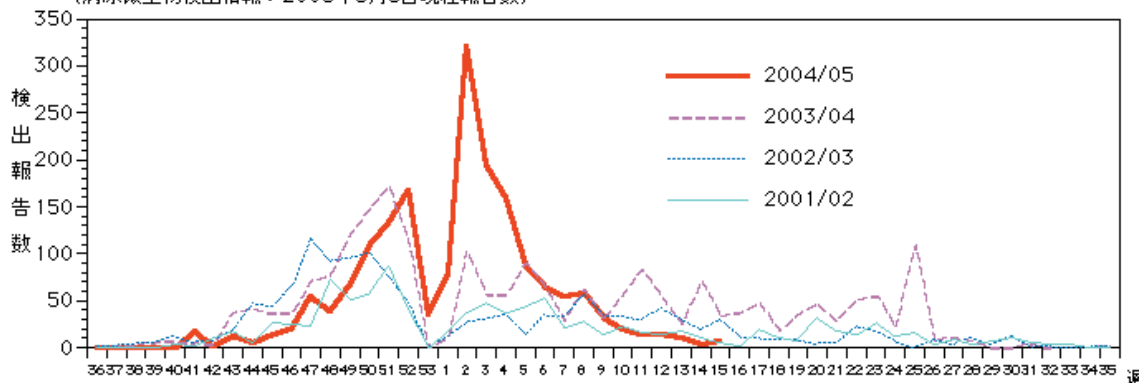
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス)検出報告数、過去3シーズンとの比較(2001/02-2004/05)

(病原微生物検出情報: 2005年5月6日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



日本のAIDS患者・HIV感染者の状況(平成17年1月3日～4月3日)

厚生労働省健康局疾病対策課
平成17年4月25日

エイズ動向委員会委員長コメント(要旨)

1. 今回の報告期間は2005(平成17)年1月3日～4月3日までの約3カ月である。法定報告に基づく新規HIV感染者報告数は207件(うち男性188件、女性19件。前回報告190件)で、前年同時期の新規HIV感染者報告数は150件であり、明らかな増加傾向であると言える。

一方、新規AIDS患者報告数は79件(うち男性73件、女性6件。前回報告93件)で、前年同時期の新規AIDS患者報告数は69件である。

2. 感染経路別に見ると、新規HIV感染者では同性間性的接触によるものが132件(全HIV感染者報告数の約64%)と最も多く、そのうち131件が日本国籍男性であった。また、異性間性的接触による新規感染者報告数は49件(全HIV感染者報告数の約24%、うち男性32件、女性17件)である。

一方、新規AIDS患者では同性間性的接触によるものが27件(全AIDS患者報告数の約34%)、異性間性的接触によるものが22件(全AIDS患者報告数の約28%、うち男性20件、女性2件)となっている。なお、男性AIDS患者で同性間性的接触が異性間性的接触を上回りはじめたのは2003(平成15)年頃からである。

年齢別では、新規HIV感染者は20～30代が大多数(75.4%)を占め、新規AIDS患者は30～50代と広く分布している。

要約すると、感染者・患者とも90%以上を男性が占め、その中でも同性間性的接触による感染が大多数を占めるという状態である。

3. 2005(平成17)年1月～3月末までの保健所におけるHIV抗体検査件数は18,913件(前年同時期は15,684件)、相談件数が34,231件(前年同時期34,634件)であった。

4. 2005(平成17)年1月～3月の献血件数(速報値)は1,310,191件(前年同時期1,374,281件)で、そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数は24件、10万人当たりの陽性人数は1.832件(前年同時期1.019件)であった。この数字は、感度の高い核酸増幅検査を全国的に導入した1999(平成11)年10月以降、第1四半期の数字としては最も高い。

5. この四半期における新規HIV感染者報告数は過去2番目に多く、2005(平成17)年4月3日までに、累積HIV感染者報告数および累積AIDS患者報告数は合計で1万件を超えた。新規HIV感染者報告数を感染経路別に見ると、男性同性間性的接触が過去最高の報告数となり、中でも、若年層の占める割合が大きい。以上のことは、日本国内でHIV感染が広がりつつあることを示唆していると思料する。

国民は日本国内でHIV感染が広がり、感染機会が増えつつあること、献血は安全な血液を供給するためのものであることなどを含めて、HIV・AIDSについての理解を深め、積極的に予防やHIV抗体検査の早期受診に努めるべきである。都道府県等においても、普及啓発を推進するとともに、保健所を中心に、利用者の利便性(例えば時間帯・場所など)に配慮した検査・相談事業を一層推進して、HIV感染の早期発見による早期治療と感染拡大の抑制に努める必要がある。

(IASR 2005年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

アンゴラでのマールブルグ病流行 - 更新

WHO/CSR 2005年4月29日

2005年4月27日時点で、アンゴラ保健省は275名のマールブルグ病患者を報告した。これらの患者のうち255名が死亡している。4月28日時点で、依然として流行の中心であるUige州では266名が報告され、うち246名が死亡したことが報告された。現在、対策チーム、医療設備、プロトコールなどを含め、流行の制圧に必要なあらゆる制御対策が実施されているが、感染伝播を再度拡大させる可能性のある事件の発生を防ぐ様、十分な注意が必要である。流行の現時点において、感染伝播の拡大を招く事件が発生すると、現在の強力な制圧対策をさらに数週間延長することが必要となり、逆行をきたす。

過去のウイルス性出血熱の流行において、このような事件が二次感染者の発生をうながす結果となった2事例が知られている。

Uige州における制圧対策も最近、いくつかの後退を経験した。今週前半、Uige州で最大規模の州立病院の医師らが十分な感染予防策を行わず、一般病棟で治療を受けていたマールブルグ病患者の血液に直接曝露される事故が2件あった。これらの医師は医学的観察下にある。このようなリスクの高い曝露は繰り返されてはならない。

このような事故は、病院における感染制御策が著しく損なわれていることを示している。このような事故は、予防衣や訓練に支えられた感染防御システムにかかわらず発生してしまった。感染防御システムとは、新規入院患者における曝露歴や発熱を安全にスクリーニングすること、一般病棟において、他の患者からマールブルグ病の可能性のある患者を隔離することなどである。

もう1件の最近の事故は、死亡者の遺体が一般病棟に8時間以上も未消毒、未収集のまま放置され、病院スタッフや他の患者を危険にさらした。別の1件の事故は、マールブルグ病で死亡した乳幼児の遺体を取り除かれた直後に、消毒もされないまま、小児病棟に入院した重症の乳幼児がそのベッドに寝かされた。この地域での風習にしたがい、病児の母親たちは小児科病棟で病児に付き添い、重症の乳幼児の看護に相互に協力していたが、そのため曝露リスクも蒙ることになった。

このような状況においては、感染伝播拡大のリスクは極めて高くなる。国際的支援チームが制定した安全プロトコールが遵守されていれば、こうした事故は起きなかったと思われる。病院の閉鎖も考慮されたが、これは実施可能な現実的方法ではない。このような手段は、多数の患者から救命の可能性のある医療を受ける機会を奪い、開業医に転院させることになるが、開業医では条件や実施手技はさらに危険な状態であり、より多数の患者の発生につながる可能性がある。

昨日4月27日、保健相は副大臣とWHOアンゴラ支局長を伴い、状況を調査して解決法を見出し、現地対策実施状況を査察するために、Uige州へ飛んだ。当局者らは、他の原因で入院した患者がマールブルグ病感染のリスクに曝されないようにするために、強力な手段が必要であることを認識した。この状況を改善するための最初の手段は本日実施されたが、それには保健省当局、WHOおよび国境なき医師団が協力する。

WHOは、感染制御専門国際スタッフのUige州への派遣体制を強化することを決定した。WHOは、保健省当局者らの直接的介入も歓迎している。こうした高いレベルの支援は、これまで実施され、その効果が証明された制圧対策を復活し、完全に遵守させるために役立つはずである。Uige州における最近の数件の死亡者の調査において、不衛生な注射器を使用した在宅治療とウイルス感染伝播の間に明確な関連性が示された。この問題には緊急に取り組みがなされている。昨日からUige地区全域でたれ幕やポスターも利用し、住民に対して注射器に関連する危険性を周知させ、注射器を回収して安全廃棄するための集団戸別訪問キャンペーンが実施されて

いる。キャンペーンは本日も継続される。

インドネシアでのポリオ患者発生

ポリオ根絶計画ウェブサイト 2005年5月3日

2005年5月2日、インドのムンバイ(ボンベイ)市にある国際的なリファレンス研究所は、インドネシアWest Java州Sukabumi地区Giri Jaya村で全国サーベイランスシステムにより検知された急性弛緩性麻痺患者から、野生ポリオウイルス1型株を検出した。ワクチン未接種であった18カ月齢の患児は、2005年3月13日に麻痺を発症した。初発患者が発生した村では、その他に急性弛緩性麻痺患者7名が確認され、現在調査が行われている。調査結果からは、遺伝子解析にて起源が西アフリカと証明された今回の野生ポリオウイルスの持ち込みは、2003/2004年の流行の原因となったポリオウイルスに類似していることが示唆された。さらなる調査の結果、問題のウイルス株はスーダンを経由してインドネシアに輸入され、最近サウジアラビアやイエメンで分離されたウイルス株に類似していることが示唆された。インドネシアでは1995年以来、野生ポリオウイルス感染患者は発生していなかった。



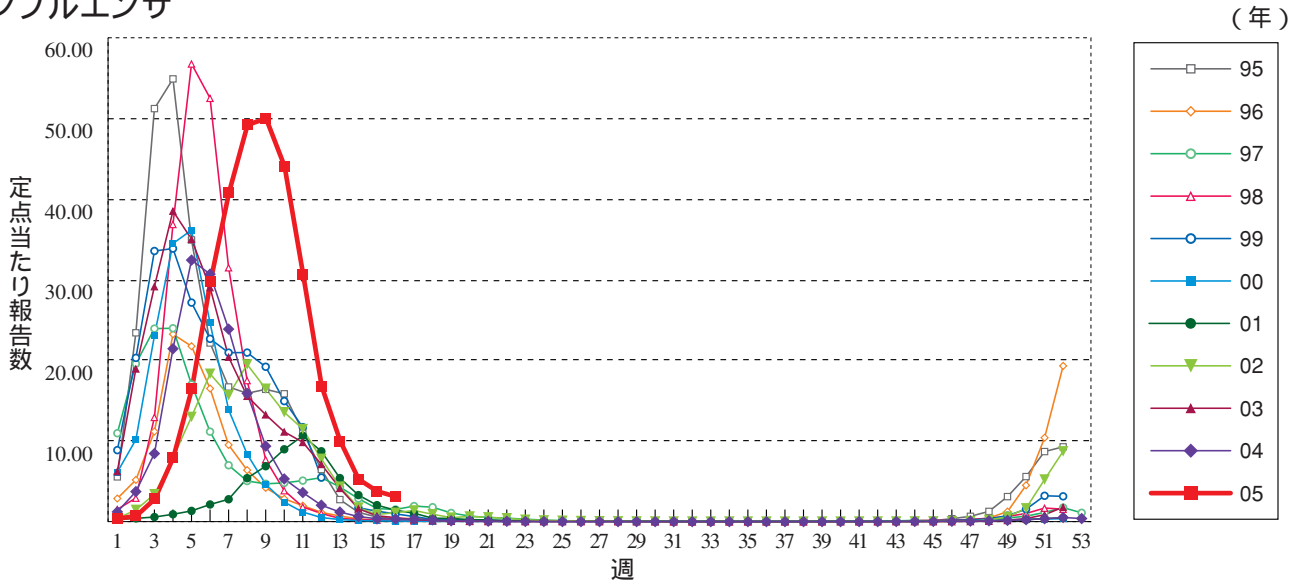
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

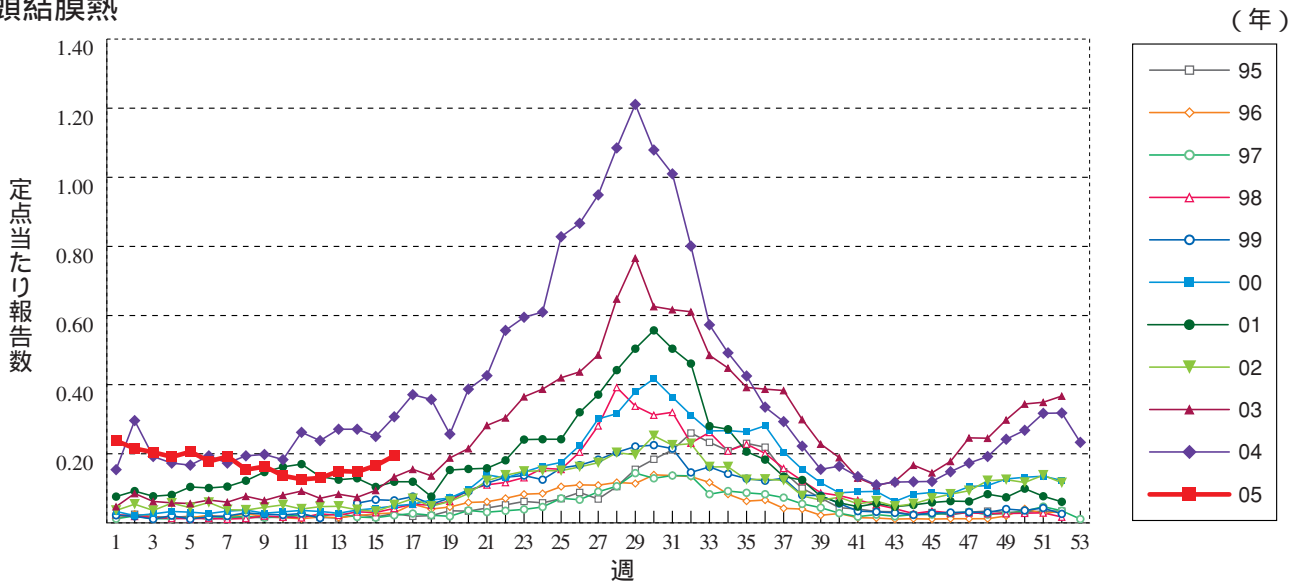


グラフ総覧(16週)

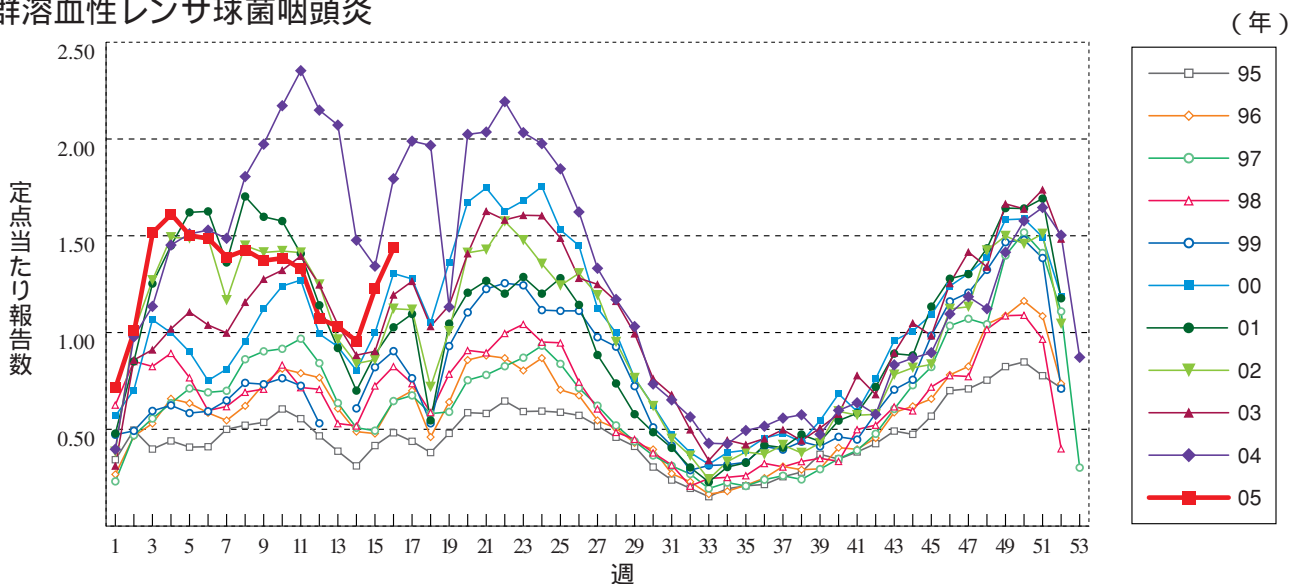
インフルエンザ



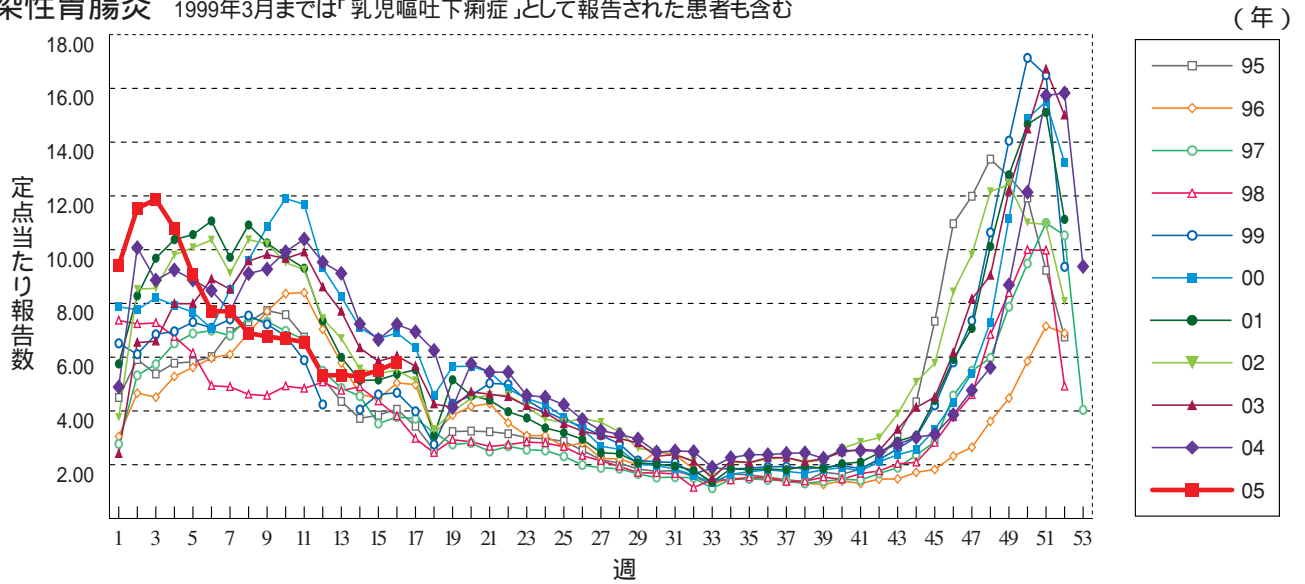
咽頭結膜熱



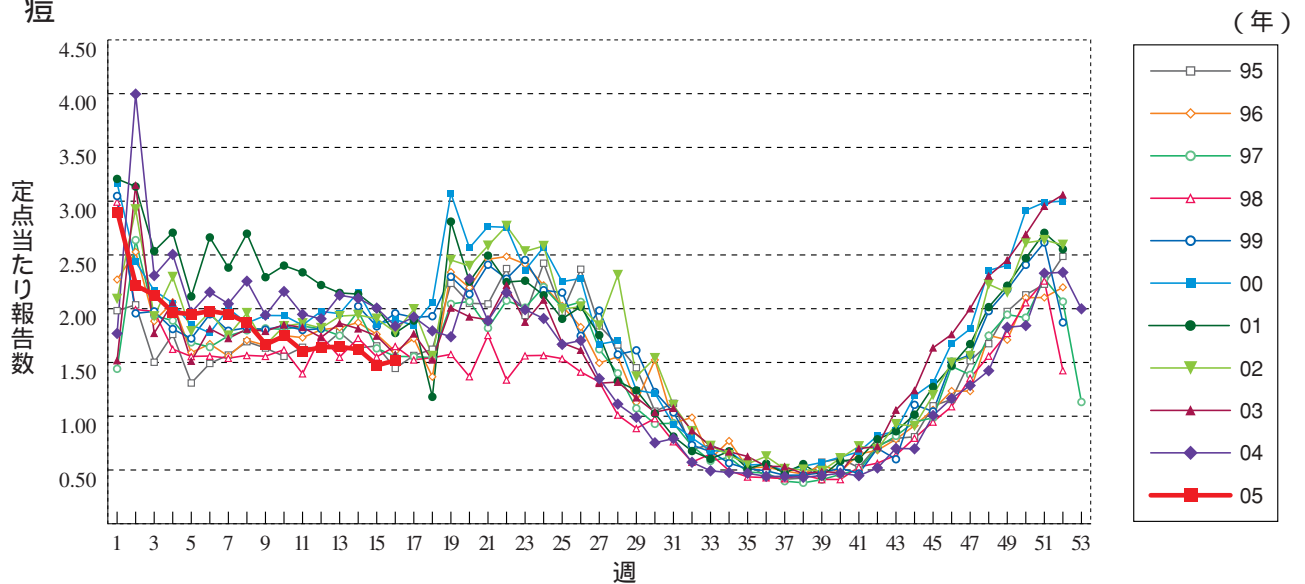
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



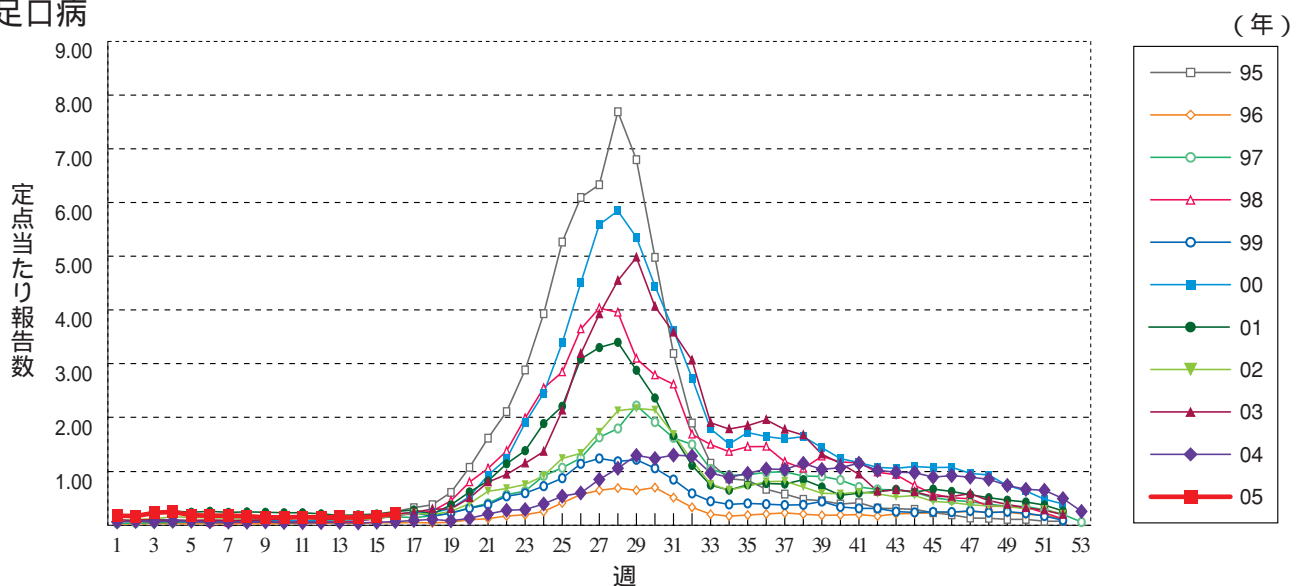
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



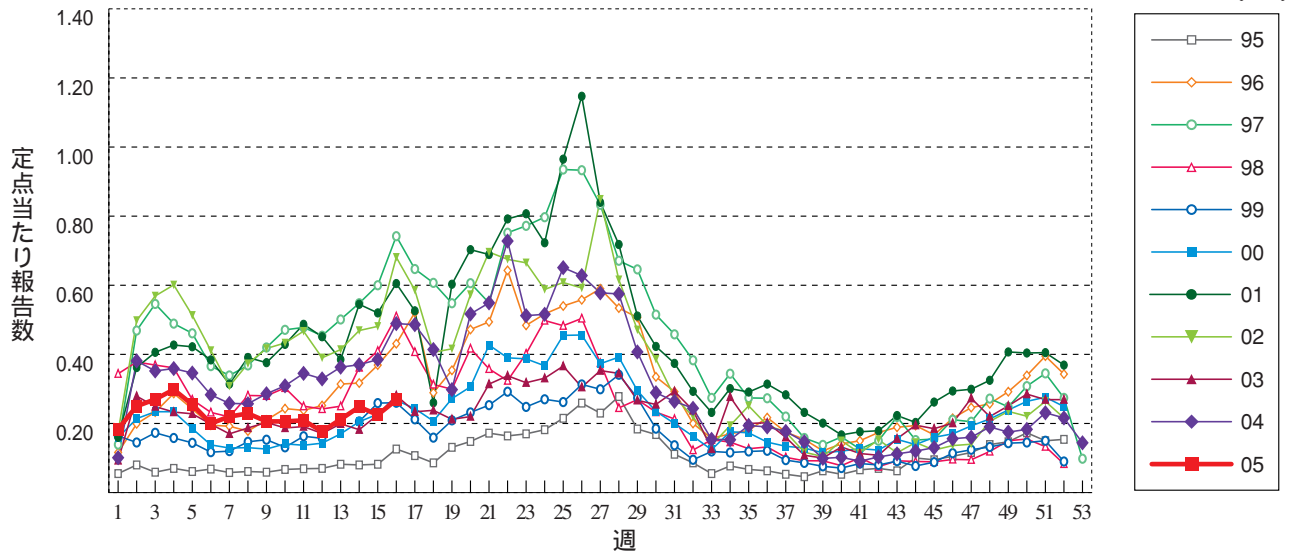
水痘



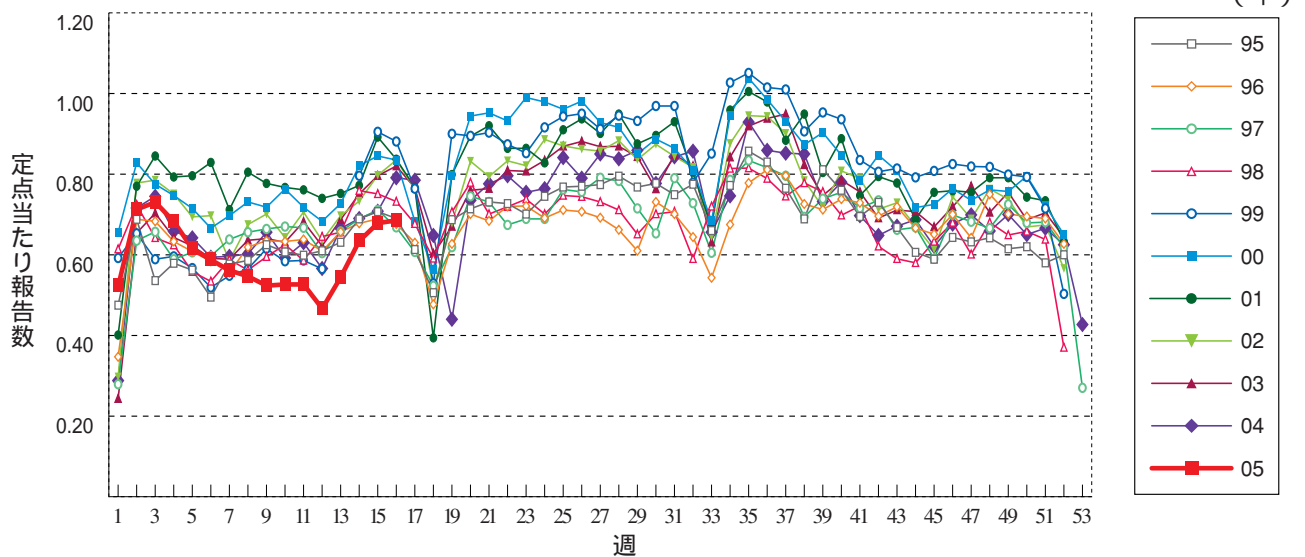
手足口病



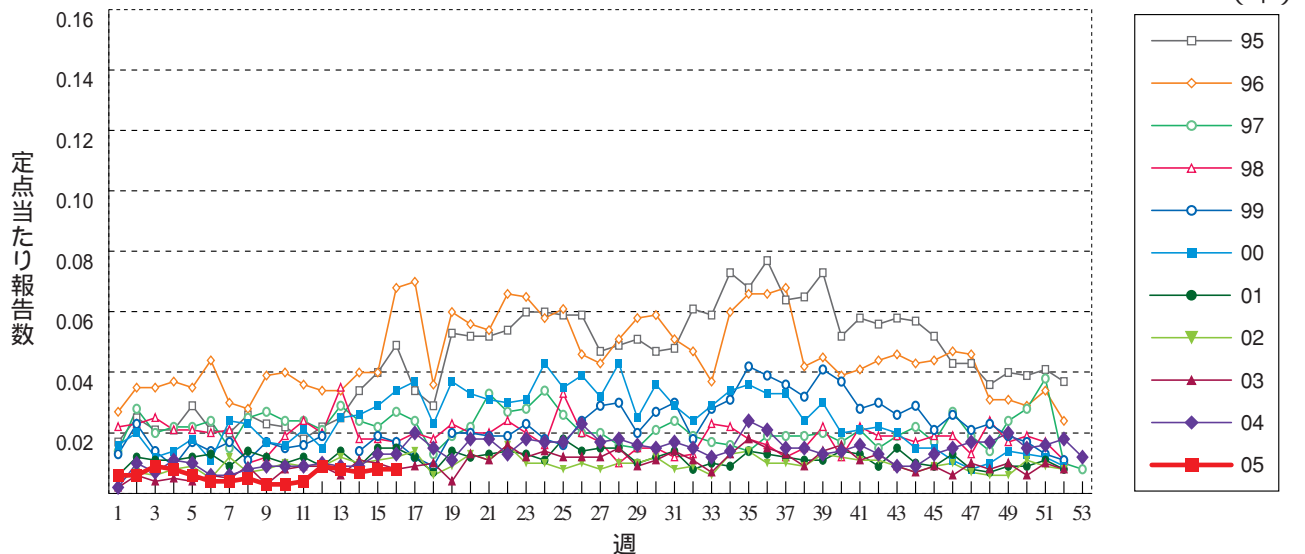
伝染性紅斑



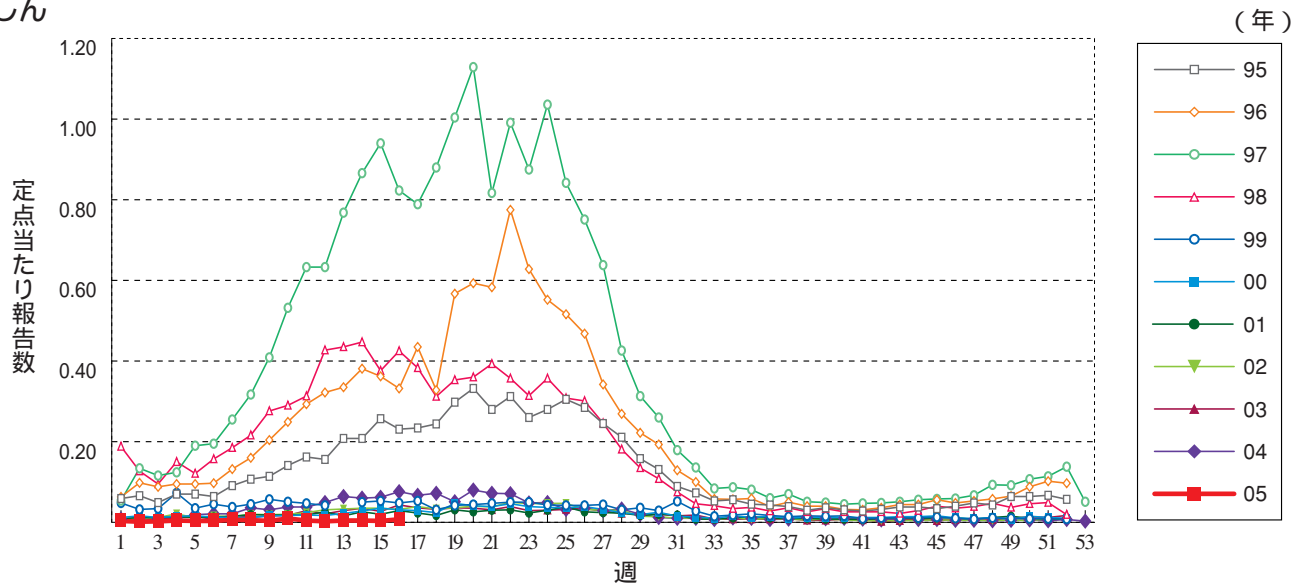
突発性発しん



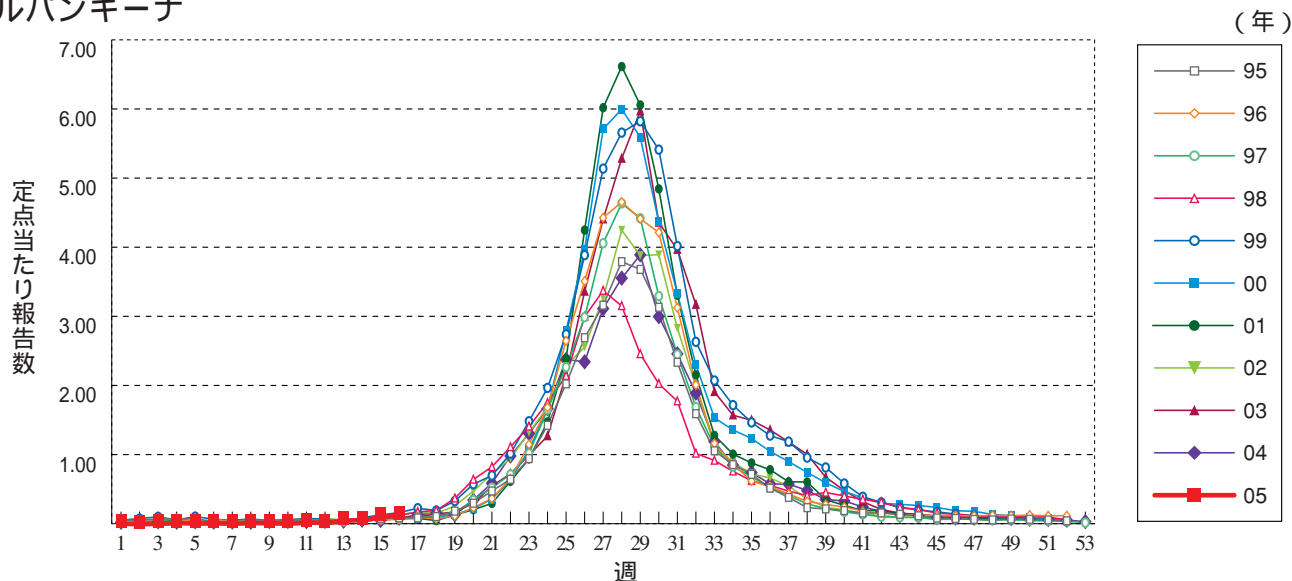
百日咳



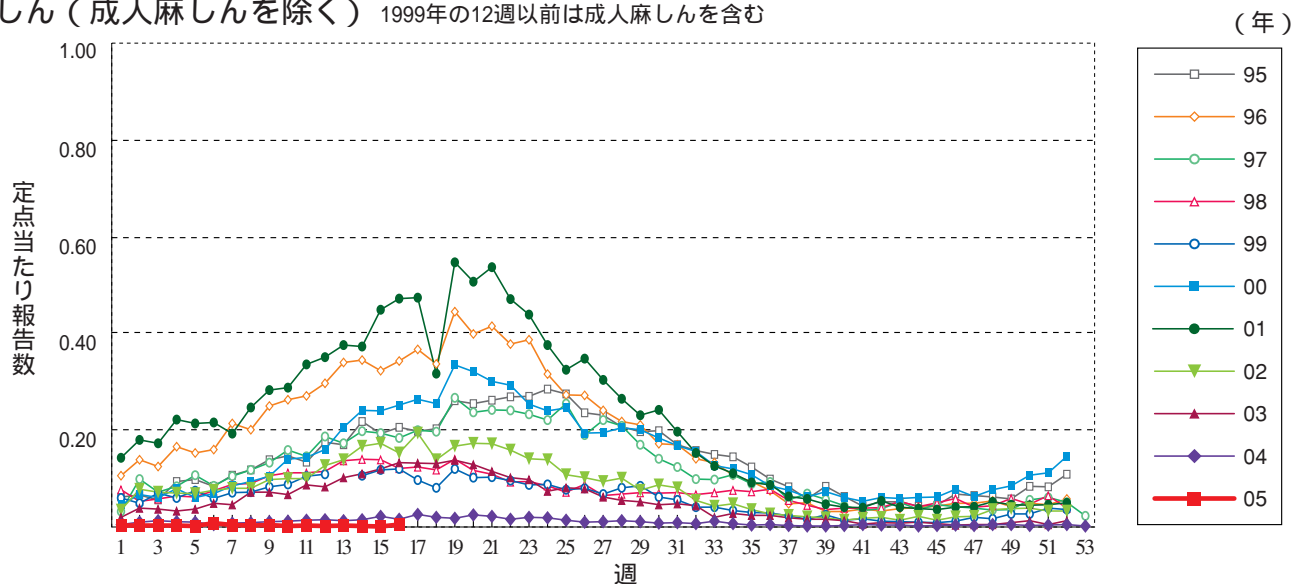
風しん



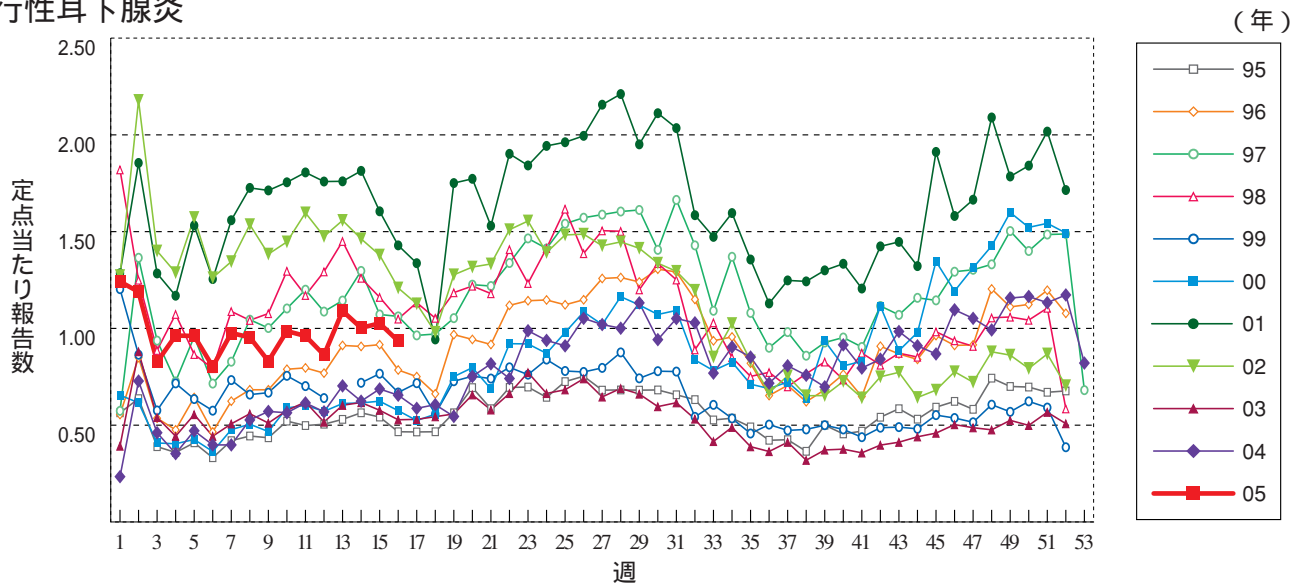
ヘルパンギーナ



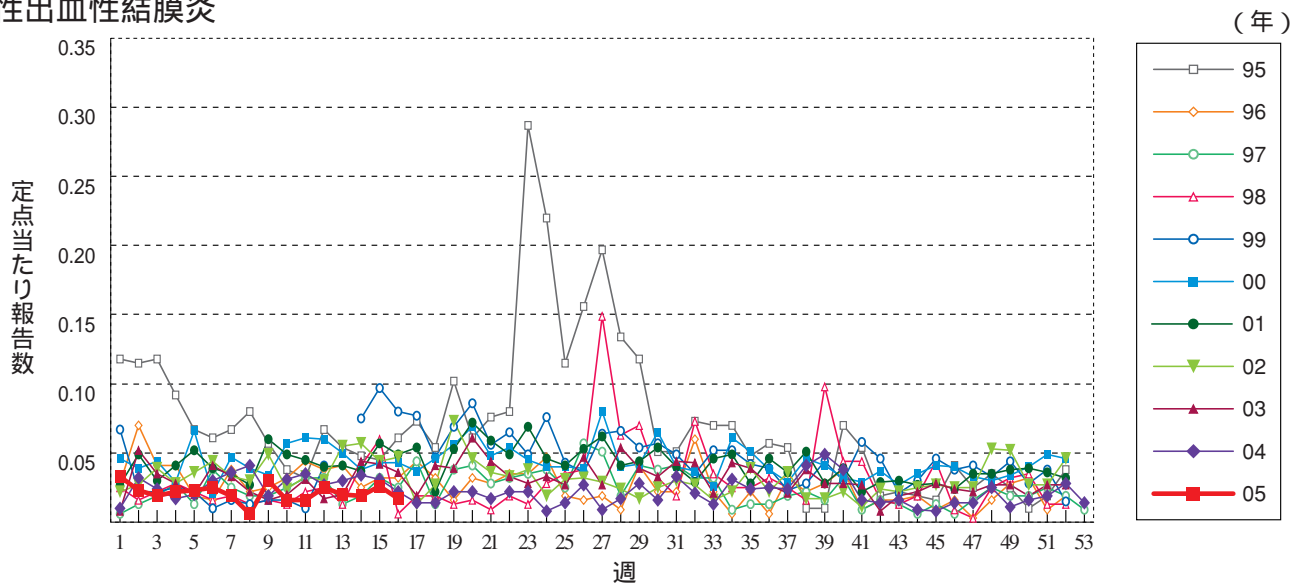
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



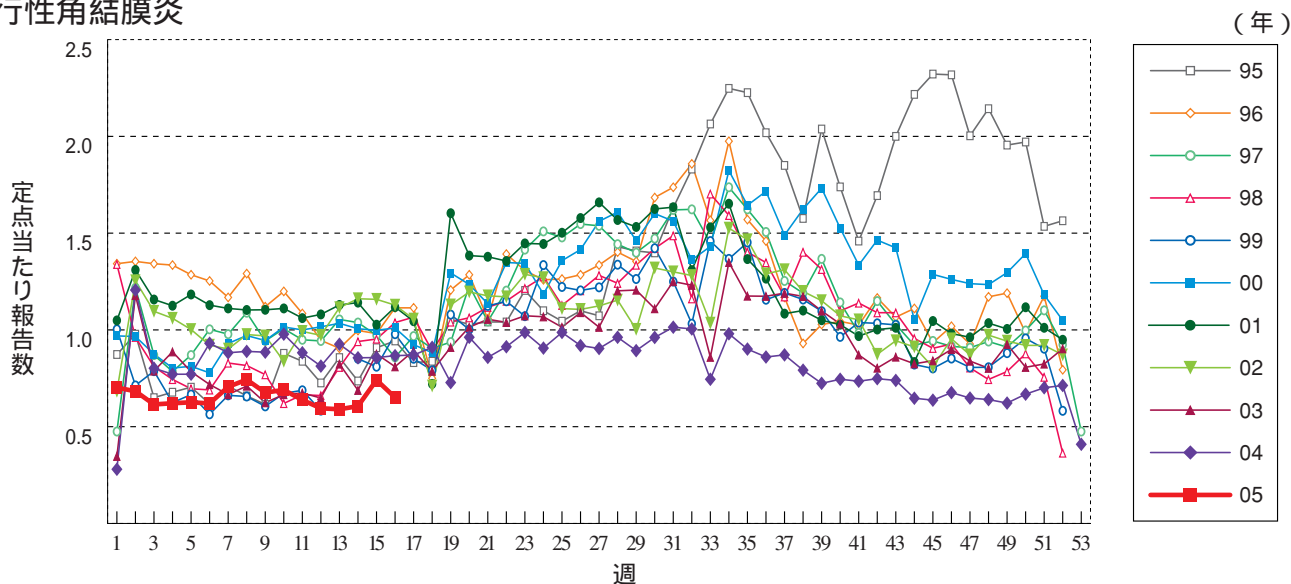
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

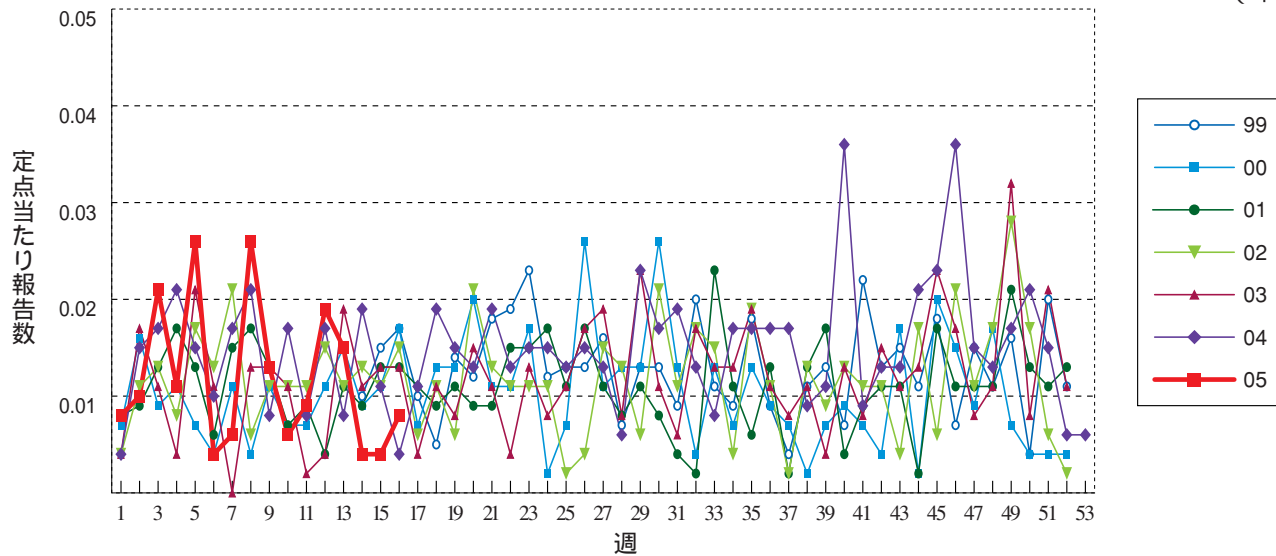


流行性角結膜炎



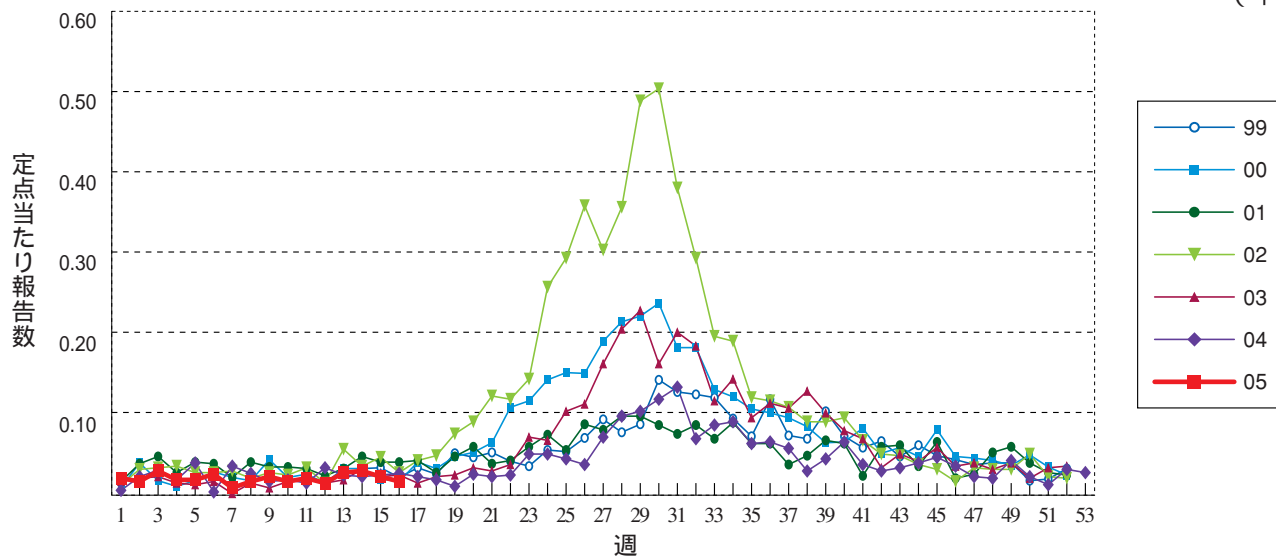
細菌性髄膜炎

(年)



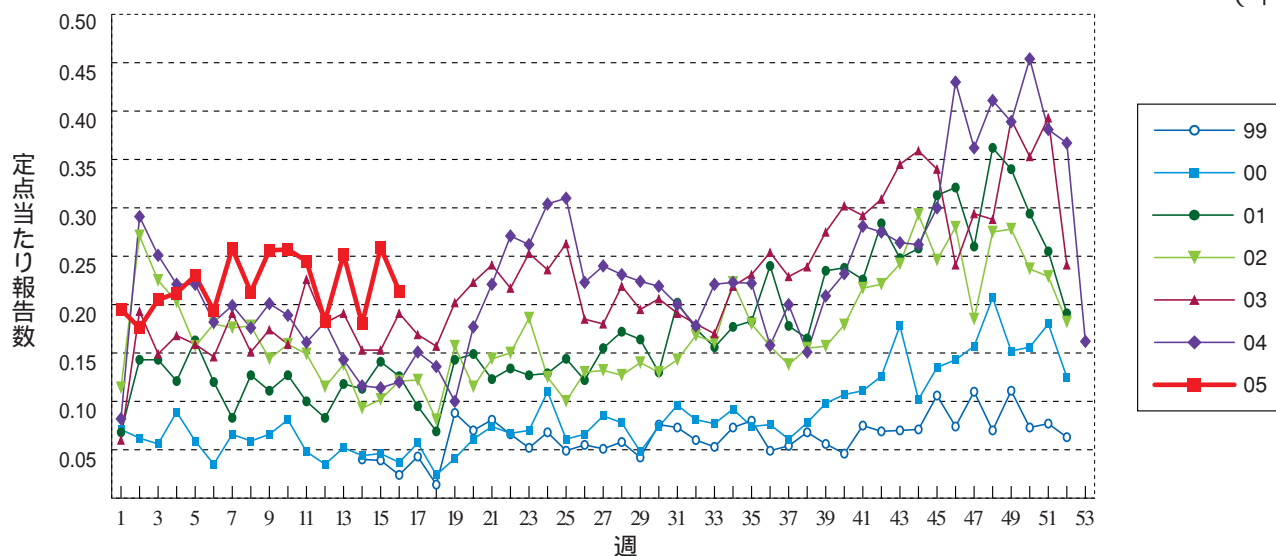
無菌性髄膜炎

(年)

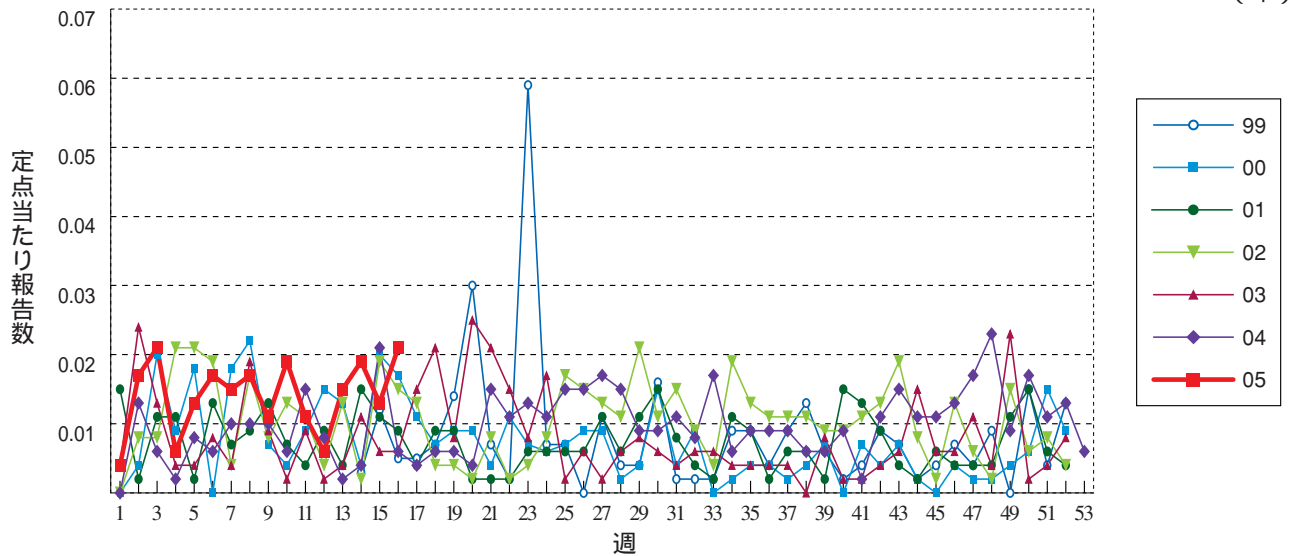


マイコプラズマ肺炎

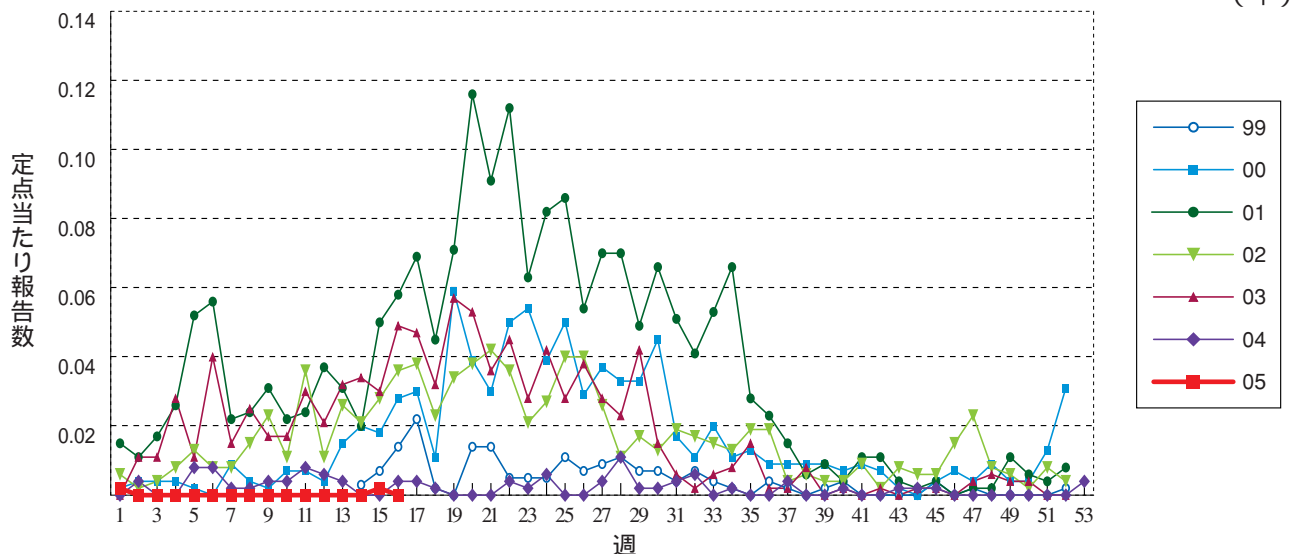
(年)



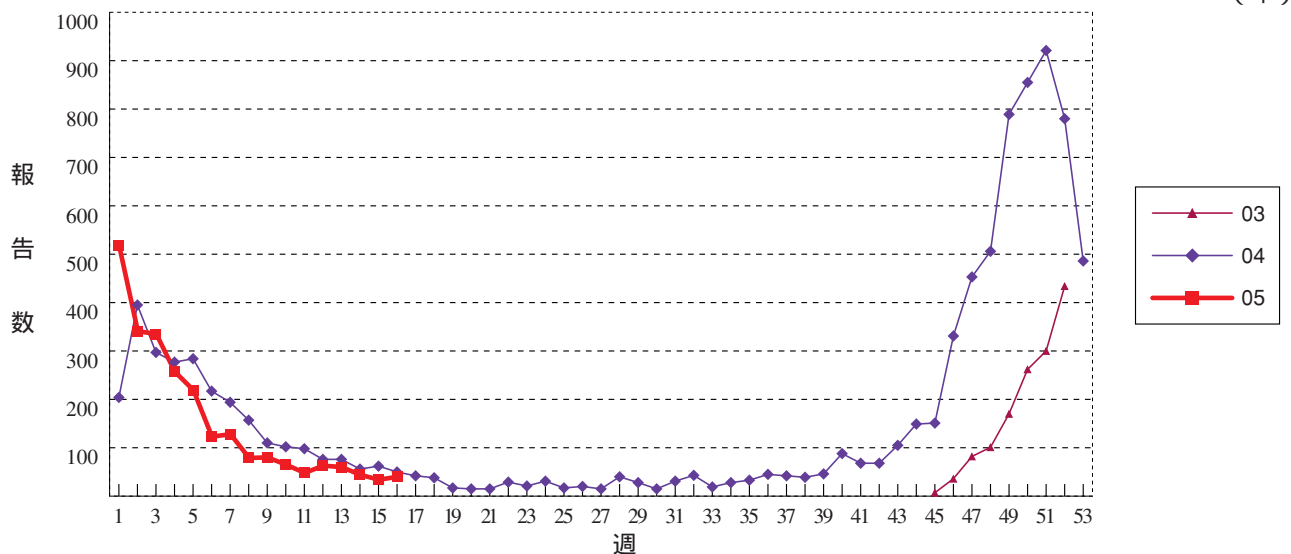
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻しん



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





16週のデータ

注)表中の報告数は4月28日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年16週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	3	185	-	18	1	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	3	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	29	-	3	1	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	5	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年16週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	21	219	2	203	-	6	-	-	4	21	-	-	-	94
北海道	-	-	-	-	-	2	1	5	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	2	40	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	2	9	1	50	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	1	4	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	5	16	-	14	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	2	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
兵庫県	-	-	-	-	-	7	-	8	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	2	10	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	2	2	-	2	-	-	-	-	3	3	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年16週

	Q熱		狂犬病		クリプトスפורジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	4	2	43	-	23	11	308	-	-	-	16	-	-
北海道	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	1	5	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	2	15	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	7	-	2	3	96	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	13	-	-	-	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	15	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	24	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	3	47	-	-	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年16週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	3	-	-	-	-	-	24	1	9	-	1	-	-	7	152	1	21
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1
東京都	-	1	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	27	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	3	22	-	-
兵庫県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年16週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	1	31
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
東京都	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	2
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年16週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	20	-	-	2	75	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	3	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年16週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	2	93	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成17年16週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	14549	3.10	594	0.20	4378	1.44	17678	5.81	4622	1.52	649	0.21	816	0.27	2089	0.69	24	0.01
北海道	2214	9.67	33	0.23	505	3.48	369	2.54	220	1.52	13	0.09	24	0.17	85	0.59	-	-
青森県	406	6.25	9	0.21	67	1.60	173	4.12	34	0.81	3	0.07	16	0.38	20	0.48	-	-
岩手県	401	6.47	2	0.05	33	0.89	115	3.11	34	0.92	10	0.27	9	0.24	30	0.81	-	-
宮城県	273	2.76	12	0.20	91	1.49	318	5.21	81	1.33	9	0.15	19	0.31	31	0.51	-	-
秋田県	744	13.53	8	0.23	40	1.14	163	4.66	25	0.71	-	-	14	0.40	21	0.60	-	-
山形県	360	7.50	6	0.20	91	3.03	208	6.93	34	1.13	3	0.10	11	0.37	23	0.77	-	-
福島県	276	3.45	16	0.33	50	1.04	332	6.92	73	1.52	15	0.31	37	0.77	27	0.56	-	-
茨城県	93	0.79	7	0.09	102	1.38	352	4.76	66	0.89	8	0.11	17	0.23	27	0.36	-	-
栃木県	115	1.64	4	0.09	40	0.87	98	2.13	22	0.48	8	0.17	5	0.11	19	0.41	3	0.07
群馬県	159	1.59	4	0.06	86	1.39	284	4.58	92	1.48	25	0.40	2	0.03	50	0.81	1	0.02
埼玉県	234	0.91	18	0.11	276	1.71	964	5.99	301	1.87	25	0.16	30	0.19	144	0.89	-	-
千葉県	193	0.92	25	0.19	219	1.67	666	5.08	227	1.73	21	0.16	31	0.24	72	0.55	2	0.02
東京都	187	1.05	28	0.20	144	1.01	888	6.25	126	0.89	28	0.20	42	0.30	71	0.50	-	-
神奈川県	301	0.90	46	0.22	348	1.70	1053	5.14	265	1.29	29	0.14	83	0.40	136	0.66	2	0.01
新潟県	394	3.98	17	0.28	138	2.30	543	9.05	127	2.12	2	0.03	6	0.10	45	0.75	-	-
富山県	101	2.10	8	0.28	62	2.14	218	7.52	60	2.07	3	0.10	10	0.34	15	0.52	-	-
石川県	162	3.38	18	0.62	64	2.21	318	10.97	62	2.14	-	-	4	0.14	22	0.76	-	-
福井県	269	8.68	13	0.62	47	2.24	363	17.29	42	2.00	-	-	3	0.14	22	1.05	-	-
山梨県	63	1.54	-	-	22	0.88	68	2.72	14	0.56	1	0.04	4	0.16	13	0.52	-	-
長野県	424	4.82	4	0.07	87	1.58	393	7.15	71	1.29	4	0.07	5	0.09	29	0.53	1	0.02
岐阜県	339	4.04	21	0.40	37	0.70	146	2.75	43	0.81	4	0.08	7	0.13	20	0.38	-	-
静岡県	206	1.50	21	0.24	108	1.26	451	5.24	178	2.07	11	0.13	23	0.27	71	0.83	-	-
愛知県	710	3.64	35	0.19	185	1.02	679	3.73	283	1.55	48	0.26	17	0.09	157	0.86	3	0.02
三重県	473	6.48	8	0.18	47	1.04	357	7.93	104	2.31	15	0.33	4	0.09	49	1.09	1	0.02
滋賀県	247	4.84	-	-	18	0.55	127	3.85	52	1.58	-	-	-	-	12	0.36	-	-
京都府	334	2.76	3	0.04	87	1.16	426	5.68	85	1.13	2	0.03	8	0.11	29	0.39	-	-
大阪府	354	1.23	41	0.21	220	1.11	1227	6.20	223	1.13	43	0.22	47	0.24	128	0.65	2	0.01
兵庫県	550	2.85	37	0.29	122	0.96	1069	8.42	240	1.89	8	0.06	27	0.21	92	0.72	1	0.01
奈良県	131	2.43	7	0.21	29	0.85	182	5.35	36	1.06	2	0.06	7	0.21	14	0.41	-	-
和歌山県	45	0.90	-	-	19	0.61	182	5.87	63	2.03	9	0.29	7	0.23	28	0.90	-	-
鳥取県	263	9.07	-	-	22	1.16	334	17.58	23	1.21	14	0.74	4	0.21	17	0.89	-	-
島根県	145	3.92	9	0.39	19	0.83	161	7.00	42	1.83	2	0.09	1	0.04	17	0.74	-	-
岡山県	173	2.06	3	0.06	39	0.72	279	5.17	78	1.44	9	0.17	9	0.17	21	0.39	-	-
広島県	809	6.74	14	0.19	85	1.13	480	6.40	82	1.09	41	0.55	10	0.13	41	0.55	1	0.01
山口県	238	3.40	11	0.22	108	2.20	414	8.45	83	1.69	-	-	11	0.22	46	0.94	1	0.02
徳島県	65	1.71	6	0.26	31	1.35	76	3.30	26	1.13	11	0.48	13	0.57	15	0.65	-	-
香川県	163	3.20	6	0.19	37	1.16	147	4.59	64	2.00	1	0.03	9	0.28	22	0.69	1	0.03
愛媛県	242	3.97	3	0.08	74	2.00	249	6.73	25	0.68	21	0.57	2	0.05	46	1.24	-	-
高知県	123	2.51	4	0.13	47	1.52	183	5.90	45	1.45	27	0.87	5	0.16	19	0.61	1	0.03
福岡県	367	1.85	21	0.18	203	1.69	778	6.48	299	2.49	56	0.47	124	1.03	105	0.88	3	0.03
佐賀県	70	2.00	5	0.22	28	1.22	122	5.30	46	2.00	21	0.91	23	1.00	37	1.61	-	-
長崎県	103	1.51	19	0.43	35	0.80	215	4.89	98	2.23	7	0.16	10	0.23	24	0.55	-	-
熊本県	68	0.85	12	0.25	45	0.94	282	5.88	71	1.48	9	0.19	15	0.31	41	0.85	-	-
大分県	131	2.26	3	0.08	67	1.86	395	10.97	75	2.08	2	0.06	16	0.44	39	1.08	-	-
宮崎県	152	2.58	13	0.36	64	1.78	411	11.42	77	2.14	5	0.14	5	0.14	56	1.56	1	0.03
鹿児島県	136	1.46	12	0.21	58	1.04	406	7.25	103	1.84	8	0.14	38	0.68	32	0.57	-	-
沖縄県	543	9.36	2	0.06	32	0.94	14	0.41	102	3.00	66	1.94	2	0.06	9	0.26	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年16週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	26	0.01	469	0.15	16	0.01	2843	0.93	11	0.02	420	0.65	4	0.01	8	0.02	101	0.21
北海道	1	0.01	6	0.04	-	-	63	0.43	-	-	26	0.90	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	4	0.10	-	-	9	0.21	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	5	0.14	-	-	7	0.19	-	-	12	1.00	-	-	-	-	11	0.55
宮城県	-	-	1	0.02	-	-	38	0.62	-	-	4	0.33	-	-	-	-	5	0.42
秋田県	-	-	4	0.11	-	-	10	0.29	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	4	0.13	-	-	33	1.10	-	-	1	0.13	-	-	-	-	3	0.30
福島県	-	-	1	0.02	-	-	29	0.60	-	-	11	0.92	-	-	-	-	7	1.00
茨城県	-	-	-	-	1	0.01	43	0.58	-	-	22	1.38	-	-	-	-	2	0.18
栃木県	-	-	8	0.17	-	-	19	0.41	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
群馬県	3	0.05	22	0.35	-	-	29	0.47	1	0.07	19	1.36	-	-	3	0.30	-	-
埼玉県	2	0.01	16	0.10	2	0.01	160	0.99	-	-	9	0.23	-	-	-	-	7	0.78
千葉県	-	-	8	0.06	-	-	150	1.15	1	0.03	29	0.83	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	10	0.07	5	0.04	122	0.86	-	-	4	0.29	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	4	0.02	8	0.04	1	0.00	173	0.84	-	-	27	0.64	-	-	1	0.08	-	-
新潟県	1	0.02	7	0.12	-	-	46	0.77	-	-	3	0.33	-	-	-	-	4	0.31
富山県	-	-	9	0.31	-	-	36	1.24	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	2	0.07	-	-	50	1.72	-	-	2	0.29	-	-	-	-	7	1.40
福井県	-	-	2	0.10	-	-	55	2.62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	6	0.24	-	-	4	0.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.30
長野県	-	-	2	0.04	-	-	43	0.78	-	-	7	0.64	-	-	-	-	9	0.82
岐阜県	-	-	13	0.25	-	-	68	1.28	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	4	0.05	1	0.01	100	1.16	-	-	10	0.50	-	-	-	-	2	0.20
愛知県	1	0.01	41	0.23	-	-	154	0.85	1	0.03	26	0.74	-	-	-	-	4	0.31
三重県	-	-	4	0.09	-	-	47	1.04	-	-	6	0.50	-	-	-	-	3	0.33
滋賀県	-	-	-	-	-	-	17	0.52	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	8	0.11	-	-	74	0.99	-	-	7	0.39	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	36	0.18	1	0.01	154	0.78	1	0.02	20	0.38	-	-	-	-	4	0.29
兵庫県	1	0.01	15	0.12	1	0.01	87	0.69	2	0.06	24	0.69	-	-	-	-	2	0.15
奈良県	-	-	-	-	-	-	40	1.18	-	-	-	-	-	-	1	0.17	2	0.33
和歌山県	1	0.03	10	0.32	-	-	23	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	-	-	-	-	5	0.26	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	2	0.09	-	-	4	0.17	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	5	0.09	-	-	26	0.48	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	3	0.04	-	-	118	1.57	-	-	30	1.50	-	-	2	0.11	2	0.11
山口県	-	-	2	0.04	-	-	39	0.80	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	11	1.22
徳島県	-	-	3	0.13	-	-	18	0.78	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	6	0.19	-	-	73	2.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	37	1.00	-	-	40	1.08	-	-	13	1.63	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	39	1.26	-	-	19	0.61	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	1	0.01	38	0.32	-	-	218	1.82	1	0.04	13	0.50	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	28	1.22	-	-	45	1.96	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	3	0.07	-	-	69	1.57	1	0.13	7	0.88	1	0.08	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	18	0.38	-	-	122	2.54	1	0.11	10	1.11	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	10	0.28	-	-	32	0.89	-	-	-	-	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	-	-	9	0.25	-	-	61	1.69	-	-	7	1.75	1	0.14	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	9	0.16	1	0.02	26	0.46	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
沖縄県	5	0.15	1	0.03	3	0.09	45	1.32	-	-	5	0.50	-	-	-	-	4	0.57

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年16週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	10	0.02	-	-	40
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	6	0.86	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	1	0.11	-	-	1
東京都	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	...
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	2	0.15	-	-	-
三重県	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	10

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年16週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第16号 平成17年5月13日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
<厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。